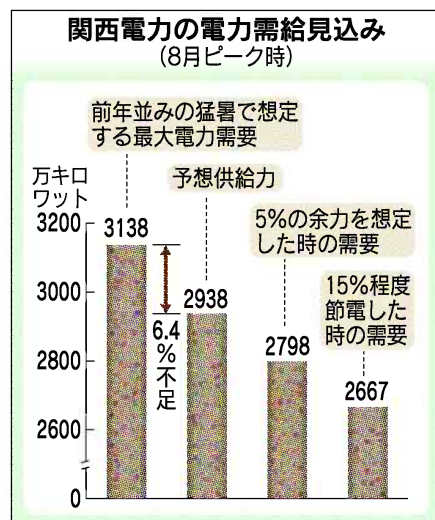


関西電力が10日発表した7月からの15%節電要請が波紋を広げている。強制力のない「自主要請」だが、工場や家庭、公共機関にも一律に求めるとあって関係者は幅広い。ところが「15%」の根拠が不透明ななど指摘する自治体が相次ぐ。産業界でも24時間操業の電子部品メーカーなどが「品質が安定しない」と困惑する。不協和音の根底には原子力発電所の是非を巡る議論もありそうだ。

「いきなり猛暑を設定した。関電は当初の数字をかさ上げしている」。関電の発表直後に「協力しない」と言い切った大阪府の橋下徹知事は、13日も記者団に反対論の熱弁を振った。橋下知事は「15%」の節電幅があまりに大きく、その裏に原発再稼働や原発新設を認めさせたい関電側の意向があると強調する。

## 関西電力、今夏15%節電要請 いきなり猛暑? 疑問の声



### 産官から 不協和音 原発再開是非も影響

13日に京都府内の自治体や経済団体、大学、病院関係者が集まった会合でも、関電の説明に「一方的に節電を押しつけている」「根拠がよく分からない」といった意見が相次いだ。

実際に「15%」の算定根拠は分かりにくい。当初、関電は今夏の最大電力需要を3037万キロワットと見積もった。これは過

去10年の各年度から電力需要が大きかった上位3日分を平均したものに近く、従来通りの試算だった。

今回は「昨年並みの猛暑に想定し直した」として最大3138万キロワットと想定を101万キロワット上げた。関電は理由について昨年の電力ピークだった8月19日の気象条件を「総合的に勘案した」と説明する。ただ、昨年8月19日の最大電力でも3095万キロワット。さらに3138万キロワットまで引き上げる理由の説明は「気温、湿度、ピークに至るまでの暑さを独自に判断した」(地域共生・広報室)とやや歯切れが悪い。

15%の節電幅は、この最大電力の想定から予想供給力で足りない6.4%というメッセージだと踏

み込む。原発依存度を下げざるを得ない。原発再開是非も影響する。関西電力の節電対策は、定期検査で止まった原発の再開要望をうかがわせる。関西電力の自主要請は、大規模停電を避けた電力会社としてかなり慎重に積算した格好だ。近畿中心の7府県で構成する関西広域連合は5月下旬、独自に電力不足を試算してオフィスや家庭に5〜10%の節電呼びかけを決めていた。関電の15%要請はこれを覆す。そもそも関西電力の節電要請は想定以上の暑さが原因ではない。同社の全原発を立地する福井県から原発の安全性に疑問符がつき、7月には全11基のうち6基が定期検査で止まる見通しになったためだ。

当の西川一誠・福井県知事は13日、日本記者クラブの会見で原発再稼働は安全性が最優先とし、関電の節電要請は再稼働の判断に関係しないと述べた。西川知事は東京電力・福島第1原発事故について、国の地震に対する分析や新たな安全基準作りを求めている。

発電能力の半分程度を原子力に頼る関電。当面の節電要請も、今後の原発事業も、地元自治体の了解なしには前進できない難路に入り込んでいく。(山根清志)

と説明する。ただ、昨年8月19日の最大電力でも3095万キロワット。さらに3138万キロワットまで引き上げる理由の説明は「気温、湿度、ピークに至るまでの暑さを独自に判断した」(地域共生・広報室)とやや歯切れが悪い。

15%の節電幅は、この最大電力の想定から予想供給力で足りない6.4%というメッセージだと踏

み込む。原発依存度を下げざるを得ない。原発再開是非も影響する。関西電力の節電対策は、定期検査で止まった原発の再開要望をうかがわせる。関西電力の自主要請は、大規模停電を避けた電力会社としてかなり慎重に積算した格好だ。近畿中心の7府県で構成する関西広域連合は5月下旬、独自に電力不足を試算してオフィスや家庭に5〜10%の節電呼びかけを決めていた。関電の15%要請はこれを覆す。そもそも関西電力の節電要請は想定以上の暑さが原因ではない。同社の全原発を立地する福井県から原発の安全性に疑問符がつき、7月には全11基のうち6基が定期検査で止まる見通しになったためだ。

当の西川一誠・福井県知事は13日、日本記者クラブの会見で原発再稼働は安全性が最優先とし、関電の節電要請は再稼働の判断に関係しないと述べた。西川知事は東京電力・福島第1原発事故について、国の地震に対する分析や新たな安全基準作りを求めている。

発電能力の半分程度を原子力に頼る関電。当面の節電要請も、今後の原発事業も、地元自治体の了解なしには前進できない難路に入り込んでいく。(山根清志)